

事業番号	02 06 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検		
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課		
		実施期間	S42 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加			⑦健康長寿日本一を維持			
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保		3-9 本州中央部広域交流圏の形成		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり		

1 現状と課題

目指す姿	鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。 北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。	
これまでの取組	鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動等	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持 施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送、誰もが生活に必要な移動ができる交通手段の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会を始めとした各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道路線の維持に努める。 鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組みに対し、車両更新や設備整備の支援を行う。

2 令和4年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	【アルピコ交通上高地線橋梁補強支援事業】 R3.8大雨災害により被害を受けたアルピコ交通上高地線の田川橋梁、奈良井川橋梁に対し、安全性向上を図るため、国及び市町村と協調して補強に要する経費を支援。
	【地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業】 コロナ禍において原油価格高騰の影響を受けた地域鉄道事業者の運転用動力費に要する経費を助成し、経営を支援。
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】紙での補助金申請に加え、電子メール等による受付を実施

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									区分(単位:千円)			
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	県内鉄道キロの維持	km	788.5	788.5	→	788.5	→	788.5	前年度繰越	254,507	0	108,292
2	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0	当初予算	499,239	466,653	382,028
3	平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	%	87.5	95.0	↑	95.0	→	95.0	補正予算	52,482	331,740	126,208
4	(参考指標)平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等設置駅数	駅	21	19	↓	19	→	—	合計(A)	806,228	798,393	616,528
5	(参考指標)エレベーター等設置駅数(平均利用数が3,000人/日未満等の駅)	駅	12	15	↑	16	↑	—	うち一般財源	168,217	212,013	273,528
									決算額(B)	798,738		
									職員数(人)	3.0	3.0	3.0
設定理由	成果指標	1.2. 県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため、鉄道キロの維持と重大事故の発生数を成果指標に設定 3. 国の基本方針で令和7年度までにバリアフリー化をする数値基準に該当する駅(1日の利用者数が3,000人以上の駅及び2,000人以上3,000人未満で市町村が作成する基本構想の重点整備地区における生活関連施設に位置付けられた駅)におけるエレベーター等の整備率を成果指標に設定										
	目標値	1. 現在の県内鉄道キロの維持を目標とする 2. 重大事故が発生しないことを目標とする 3. 国の基本方針で示されている数値基準に該当する駅については、令和7年度までに整備率100%とすることが目標。鉄道駅へのエレベーター設置については、計画から完成までに長期間を要することが多いため、目標を達成できるよう国や市町村と協働して着実に支援する。										

事業番号	02 06 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費			部局	企画振興部	課・室	交通政策課

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
1	鉄道振興対策事業費	804,428 千円	896,183 千円	当初 380,228 補正 126,208 千円
DX	紙での補助金申請に加え、電子メール等による受付を実施			
ゼロカーボン	しなの鉄道㈱の車両更新を通じゼロカーボンを推進			
共生社会づくり	駅のバリアフリー化により、共生社会づくりを推進			
学びの県づくり	沿線自治体等で構成する同盟会等と協働して通学の利便性向上を推進し、県民の学びを促進			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者:長野電鉄㈱、しなの鉄道㈱、上田電鉄㈱、アルピコ交通㈱ 補助率:1/6以内(国1/3以内、市町村1/6以内)	
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を実施 補助対象事業者:しなの鉄道㈱ 補助率:1/6以内(国1/3以内、市町村1/6以内)	
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	要望活動(年1回) 啓発、広報、利用促進活動	
4	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	要望活動(年1回) 啓発、広報、利用促進活動	
5	大糸線活性化協議会負担金	負担金	啓発、広報、利用促進活動	
6	アルピコ交通上高地線橋梁補強支援事業補助金	補助金	R3.8大雨災害により被害を受けたアルピコ交通上高地線の田川橋梁、奈良井川橋梁に対し、安全性向上を図るため、国及び市町村と協調して補強に要する経費を支援 補助対象者:アルピコ交通株式会社 補助率:1/6以内(国1/3以内、市町村1/3以内)	
7	地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業交付金	交付金	コロナ禍において原油価格高騰の影響を受けた地域鉄道事業者の運転用動力費に要する経費を助成し、経営を支援。 補助対象者:県内地域鉄道事業者 補助率:定額	

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
2	北陸新幹線建設促進費	1,800 千円	1,800 千円	当初 1,800 補正 千円
DX	事務の電子化を推進			
ゼロカーボン	事務の電子化を推進			
共生社会づくり	誰もがお互いの違いを認め合う共生社会づくりにつながる取組を検討			
学びの県づくり	子どもから大人まで県民の主体的な学び、学び直しにつながる取組を検討			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	北陸新幹線建設促進同盟会 負担金	負担金	<ul style="list-style-type: none"> 建設促進等に係る国等への要請活動(春、秋) 建設促進に関する調査研究及び広報等 	

細事業 No.	細事業名	R2年度 最終予算	R3年度 最終予算	R4年度 予算
3	しなの鉄道設備投資等借入金損失補償	債務負担行為 (元金1,300,000 千円+利息) 千円	債務負担行為 (元金1,650,000 千円+利息) 千円	当初 債務負担行為(元金 1,330,000千円+利息) 補正 千円
DX	事務の電子化を推進			
ゼロカーボン	事務の電子化を推進			
共生社会づくり	誰もがお互いの違いを認め合う共生社会づくりにつながる取組を検討			
学びの県づくり	子どもから大人まで県民の主体的な学び、学び直しにつながる取組を検討			
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が損失補償を行う。	